

LIBERAL&DEMOCRATIC

# 自由民主

発行所  
自由民主党本部  
郵便番号 100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
定価 1部 108円(税込)  
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



「GDP600兆円に向けて、さまざまな角度から骨太な議論をする」。開会のあいさつで、経済再生への思いを訴える稲田朋美政務調査会長

## 「GDP600兆円」の実現を

日本経済再生本部 有識者ヒアリングで議論加速

### 経済の好循環強化へ政策総動員

一億総活躍社会の実現や「新三本の矢」など、未来を見据えた新たな国づくりを進めるため、わが党に設置されている政策機関では連日、各テーマについて熱心な議論が繰り広げられている。このうち、安倍政権の最優先課題である経済再生に向け、党則79条に基づく安倍晋三総裁の直属機関として設置された党日本経済再生本部（本部長・稲田朋美政務調査会長）も精力的に会合を開催。企業の収益が増えて雇用や賃金の増加を伴う経済の好循環を強化することを目的に、「戦後最大のGDP600兆円」の実現へ、あらゆる施策を総動員する。今週も有識者などを招いてのヒアリングを重ね、今後の政策立案や課題克服への方向性を確認した。

#### 雇用分野の規制改革、大田弘子 規制改革会議議長代理

3月22日の有識者ヒアリングでテーマとなったのは、「成長戦略の柱」とも位置付けられる規制改革。内閣府の規制改革会議で議長代理を務める大田弘子

氏から検討状況や今後の課題などを聞いた。大田氏は、長年議論されてきた雇用分野の規制改革について、労働市場改革を取り上げ、長時間労働者の賃金格差の是正を目指す

## 強い経済による豊かな国民生活 生産性革命で民間投資を拡大

労働が原因でワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）や多様な働き方の確保が難しいことや、新卒時に正規雇用から外れた若者や子育て中の女性といったさまざまな人材を生かすにたいして、問題視。硬直的な日本型の雇用システムを改め、転職や一時退職をしても不利にならないような新しい形態をつくるため、労働市場の柔軟性と保障の両立について、政

#### イノベーションと人材、富田勝慶大先端生命科学研究所所長

「同一労働同一賃金」の意義にも言及しながら、雇用制度改革への期待感を強調した。富田勝慶大先端生命科学研究所所長は、イノベーションと人材育成を中心とした研究の重要性を強調した。

#### 労働市場に柔軟性を確保 多様な人材を生かす

これに対し、規制改革担当大臣時に雇用分野の改革に取り組んできた稲田政務調査会長は、成長戦略の

て成功した「Spiber社」などベンチャー企業を4社輩出しており、地域における新産業創出への期待が高まっている。研究所開設から15年を経て富田所長は「イノベーションや科学技術開発は地方で行うべきと確信した」と振り返り、鶴岡市を科学によって活性化させる考えを表明。地方創生の成功例にもなるよう、大型研究費の一定割合を地方へ配分することや、中高生に最先端の研究環境を提供するための支援などが重要とした。

#### ロボットの利活用を推進、安川電機取締役

また、党日本経済再生本部の下に設置されている経済好循環実現委員会（委員長・新藤義孝衆院議員）も24日にヒアリングを開催した。安川電機（株）取締役常務執行役員南善勝氏、国立研究開発法人物質・材料研究機構理事の橋本和仁氏、同法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所長の武田伸一氏の3氏。

このうち南氏は、「ロボットのさらなる普及に向けて」と題し、ロボットの利活用を提案。わが国のロボット利用が技術開発を背景にサービスや介護、農業などの分野で広がっていることを紹介し、一層の活用を促すよう、分野横断的な仕組みなどを構築する必要性を指摘した。

#### 研究開発法人改革、臨床開発インフラを整備

橋本氏は、産業界と大学の研究を結びつけるため、産業界総合研究所などの研究開発法人による「橋渡し機能」を強化したうえで、世界との競争を念頭に、地域の中小・ベンチャー企業なども加えた拠点づくりを急ぐべきと訴えた。

武田氏は、わが国の医薬品産業が世界の中で遅れていることを受け、新しい新薬の開発を進める観点から、患者の疾患情報を登録する「レジストリ」について解説。希少疾患の治療法開発に重要な登録情報を活用する仕組みやグローバル臨床研究拠点の充実などを求めた。

今週の紙面	
3面	国会の動き 知的財産戦略調査会 産業活性化に関する小委員会 スポーツ立国調査会 ポーツビジネス小委員会 参院選新案に5人推薦 クールジャパン戦略推進特命委員会、地域発クルールジャパン戦略プロジェクトチーム合同会議 労働力確保に関する特命委員会
2面	私の政策 宮島よしふみ 党東京都参議院比 例区第64支部長 山田宏 党東京都参議院比 例区第22支部長 座右の銘 藤川政人参院議員 風雪素描 田中角栄
4面	私の政策 宮島よしふみ 党東京都参議院比 例区第64支部長 山田宏 党東京都参議院比 例区第22支部長 座右の銘 藤川政人参院議員 風雪素描 田中角栄
5面	私の政策 宮島よしふみ 党東京都参議院比 例区第64支部長 山田宏 党東京都参議院比 例区第22支部長 座右の銘 藤川政人参院議員 風雪素描 田中角栄
8面	私の政策 宮島よしふみ 党東京都参議院比 例区第64支部長 山田宏 党東京都参議院比 例区第22支部長 座右の銘 藤川政人参院議員 風雪素描 田中角栄

### 創生

新聞出版局長  
山下 貴司  
衆院議員

知ってほしい議員の日常

自民党国会議員の朝は早い。毎朝8時から党本部の各会議室で開かれる部会や調査会が始まる。部会・調査会には所管省庁や政策テーマごとに分けられた政務調査会の組織で、議員同士が議論を戦わせる場でもあり、若手議員にとっては貴重な勉強の場。9時から、衆・参各院の委員会に出席し、昼は党本部でカレーを食べながら部会・調査会、午後1時から各院の本会議や各委員会に出席。本会議や委員会がなくても、党本部では朝から夕方まで、どこかの会議室で部会・調査会や議連が開かれており、複数の部会・調査会をハシゴすることも珍しくない。議員会館で各省庁から受けるレクなどや関係団体との面談もある。夜も議員立法や政策立案のための仕込みや会合で時間が過ぎる。▼自民党の国会議員は、一日中、国会・党本部・議員会館を駆け巡っているのが実情。こんなマシメな日常はなぜか報道されない。